

(機械工学科)

- ・原子・分子レベルのナノ・マイクロなスケールから、環境・社会などのマクロスケールまで、機械工学に関連する幅広い分野の研究と教育を通じて、様々な視点から問題を考察できる能力と、技術者としての責任感や倫理観を持つ人材を育成する。

(電子・物理工学科)

- ・電気・電子工学や応用物理学の教育と研究を通じて、日進月歩の高度技術社会をリードできる高い専門性や応用能力、さらに技術者としての高い倫理観を兼ね備えた優れた人材を育成する。

(電気情報工学科)

- ・電気工学と情報工学の教育・研究を通じ、電気情報通信技術が社会に及ぼす影響を配慮し、時代の要請に応え得る、電気・情報・通信関係の広範囲な問題に対する適応能力を習得し、さらに、未知の問題を自らの手で解決していく自主性と独創性を持った人材を育成する。

(化学バイオ工学科)

- ・化学技術やバイオテクノロジーを基に環境調和型の「ものづくり」に挑戦する。「ものづくり」を通じて、持続的な発展と地球環境保全が両立した豊かで安全な社会の構築に貢献する人材を育成する。さらに、化学・バイオの先端領域で活躍し、かつ技術者としての責任感・倫理観を身につけ、広く社会に貢献できる人材を育成する。

(建築学科)

- ・芸術・学術・技術に立脚した「総合建築教育」を特色として、「発展」から「持続」へ、「効率性」から「人間性」へという、成熟期を迎えた社会の要求や課題を的確に把握し、それらの実現や解決に対して「理論的」かつ「実践的」に対応しうるデザイナーやエンジニアを育成する。

(都市学科)

- ・都市固有の歴史と文化を継承・発展させつつ環境負荷を低減し、人間活動と自然環境が調和した豊かで安全・安心な「環境都市」の実現を目指して、社会の要請を的確に把握し、倫理観と責任感に基づいて主体的に行動する技術者を育成する。